

7月28日(日)発行

15
YEARS
1953-2018

ミューザ開館 15周年!

ほぼ

日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza

朝刊



©青柳聡

初日からいきなりの クライマックス!

ノット&東響で開幕

【7/27:東京交響楽団オープニングコンサート】

ファイブ、フォー、スリー、ツー、ワン。ゴゴゴゴゴ……。サンダーバード・アー・ゴー! カウントダウンとともに今年のフェスタサマーミュージックが開幕した。

ジョナサン・ノットと東京交響楽団のプログラムはエキサイティング。1曲目はバリー・グレイ作曲の「ザ・ベスト・オブ・サンダーバード」だ。少年時代に「サンダーバード」に胸躍らせたノットがセレクトした名曲集。「サンダーバード」といえばイギリスが誇る60年代の特撮テレビ番組。日本のテレビでも放映されていた。うーん、懐かしい、遊んだなあ、サンダーバードの

オモチャで(3号推し)。ノリノリの指揮にオーケストラが精彩に富んだサウンドでこたえる。

2曲目はリゲティのピアノ協奏曲。こちらは20世紀後半の前衛ど真ん中。最高度に複雑な書法で書かれた難曲だ。鮮やかなピアノ独奏を披露したのはタマラ・ステファノヴィッチ。錯綜するリズムとハーモニーのなかで、すさまじい情報量が超高速でなだれ込む。おびただしい数の楽器をひとりで操る打楽器奏者は影の主役。この曲はとつても難しい、でも楽しい。「サンダーバード」に続いたのは、音の冒険だった。

休憩後はベートーヴェンの交響曲第1番。古典ですら、初めて

そこで奏でられたかのように新鮮に響くのがノットのマジック。スリリングなベートーヴェンに客席は大喝采。ソロ・カーテンコールで笑顔を見せるノット。初日からいきなりのクライマックスがやってきた。

(飯尾洋一/音楽ジャーナリスト)



©青柳聡

終始笑顔の絶えなかったマエストロ



開幕を告げるファンファーレ!ノットの背中には「FESTA IS GO!」の文字が踊る!

来場者の声

1年間、待ちに待ったこの日がようやくやってきて、本当に心の底から嬉しく思っています。今日からの2週間のために、残りの50週間があるようなものなので、楽しくて楽しくて、どうしようもありません。イイ歳したオッサンだけど、大興奮です。(50代・地方公務員) / 開幕を飾る素晴らしいコンサートでした。1曲目はノットさんの指揮に、2曲目はパーカッションの綱川さんに、3曲目はオーボエの荒さんに目を奪われました。東響は良い音色ですね。(60代・オーボエ大好き君) / バリー・グレイ(サンダーバード)もリゲティもベートーヴェンがいたから、と思いました。今回は特に素晴らしいプログラムでした。サンダーバードにはまいった!興奮しました!(50代・わぐねりあん) / サンダーバードはオケが躍動。リゲティはリズムの面白さ、雅楽的な所も興味深かった。こういうプログラミングで現代音楽が開けるのはとても楽しい。(60代・クラウス) / 今日、ここに来てよかったと思いました。設備や対応もしっかりしていて、音楽を聞く上で大切なことがよく感じられました。ノットさんが近くの観客に声をかけているのを見てとても心が温まりました。(10代・ゆかこ)

東京都交響楽団 ~名匠のガイドで聴くイタリアン・プログラム~

7/29(月) 19:00開演(15:00開場/18:30本開場) ミューザ川崎シンフォニーホール



NEXT!
サマーミュージック
明日のチケット情報



©Peter Hundert

指揮/アラン・ギルバート

- ヴォルフ:イタリア風セレナーデ(管弦楽版)
- レスピーギ:リュートのための古風な舞曲とアリア 第3組曲
- レスピーギ:交響詩「ローマの噴水」「ローマの松」

リハ 15:30~公開リハーサル(自由席)
※途中入退場不可。終了後、客席をクローズします。

当日券あり

S,A,B席 計200枚程度
S席6,000円
A席4,000円
B席3,000円
U25(小学生~25歳):各席半額

◎電話予約:なし
◎4階カウンター/10:00~17:30販売
◎当日券カウンター/18:00~販売
※17:30~18:00の間は販売を休止いたします

「水の粒子」～ピアノと明珍火箸のための

ホールアドバイザー小川典子が贈る、特別な“和”の音世界

ミュージック川崎シンフォニーホールの開館15周年を記念して、来たる9月28日に「ミュージックと歩んだ15年」と題する、小川典子さんのピアノ・リサイタルを開催する。この中で注目すべきは、本日の「イツ・ア・ピアノ・ワールド」でも演奏される、菅野由弘さんの『「水の粒子」ピアノと明珍火箸のための』だ。作品に用いられる明珍火箸は、日本刀の材料、玉鋼(たまはがね)ででき、音を鳴らすと可聴範囲を超える高周波を出すそうだが、ピアノの音色と相まって見事に調和する。

「水の粒子」は、松尾芭蕉の有名な俳句「古池や蛙飛びこむ水の音」を題材とする。俳句が詠まれた当時、カエルは鳴くもので、カエルが飛び込む水の音に着目した芭蕉の視点は斬新だったと言われている。「水の粒子」では、当時革新的だったこの水の音や、飛び込んだあとにカエルが泳ぎ、あらゆる方向に水の波紋が広がる様子を描いているようだ。なお、この「水の粒子」は「光の粒子」「虹の粒子」ととともに、粒子三部作として、小川さんによる演奏で、北欧最大のレーベルBISからCDがリリースされている。

公演では「水の粒子」の再演を含め、小川さんが過去に自身のリサイタルで取り上げた作曲家、モーツァルト、ドビュッシー、ベートーヴェンの名作をお届けする。現在、引っ張りだこの英国人作曲家ジョセフ・フィブスさんが書いた「NORIKOのためのセレナータ」もお楽しみに! (ふ)

◆小川典子ピアノ・リサイタル
「ミュージックと歩んだ15年」
9/28(土)14:00開演
菅野由弘:「水の粒子」ピアノと明珍火箸のための(2010年)
ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第23番「熱情」ほか
全席指定4,000円 U25 1,500円

◆13:10~13:40
小川典子×高坂はる香による
プレトークもお楽しみください



パートナーショップのご紹介 エンジョイ! 川崎!! Enjoy Kawasaki



喧騒を忘れて、オトナの楽しみ

川崎ダイス7階。エレベーターを降りると、映画館のフロア。あれ、間違えたかなと一瞬思ったが、その奥に店はある。こんなところに店があったのか。まさに隠れ家。

店に入ると、かまくらを模した個室が。ふと、故郷の祭りを思い出した。この個室は非常に人気とのことで予約必至だ。そして店内でもっとも目を引くのが、天井まで届くボトル棚。お気に入りの日本酒を見つけられよう。カウンターでマスターと会話をしながらお酒を楽しむ方も多いそうだ。一番のおすすめという「熟成牛の鉄板焼き トリュフバター添え」(2,300円)を、「前菜5種盛り合わせ」(1,500円)と共に注文。極上のビーフとトリュフバターが絶品だった。デートや接待でもおもてなしできるお店であった。また行こう。(秋田出身 ず)

隠れ房 新和食ダイニング
▶リスト P.14 掲載
川崎DICE
パートナーショップ特典
飲食代10%OFF
*アラカルトのみ

ミュージック公式インスタもフォローしてね!

Instagram
ミュージック川崎シンフォニーホール
旅するミュートン!

サマーミュージック 新日本フィルにやってきたミュートン。『ロメオとジュリエット』組曲のリハーサルを見学して、たった5日間の「究極の恋」にドキドキしたり涙したり。。。恋って...切ないトク(遠い目)。この日は指揮台にもものぼってみて、新日本フィルのメンバーとたくさんおともだちになりました。
#旅するミュートン #ミュージック開館15周年 #日本のオケを旅してます #新日本フィルハーモニー交響楽団 #オケ公式もチェック #ほぼ日刊サマーミュージック



友の会
キャンペーン
実施中

新規入会でもらえる!

サマーミュージック期間中(8/12まで)に友の会に入会された方に、【サマーミュージックオリジナルチケットホルダー】または【ミュージックオリジナルトートバッグ】のいずれか1つをプレゼント!

ミュージック友の会

・年会費3,000円
・チケット割引
・先行予約
など、お得な6つの特典あり!
詳しくは友の会入会窓口(ホール 歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

現・会員の方に プレゼント!

サマーミュージック公演にご来場の友の会会員様に【生田の天然水「恵水」ミュージックラベル】をプレゼント!DM同封の引換券をお持ちください(1枚につき1本お引換)



サマーミュージック公式サイト
https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/



#サマーミュージック で投稿してください!



Twitter: @summer_muza



Facebook: @kawasaki.sym.hall



Instagram: @muzakawasaki

かなしいの
だったらうたおう
たのしいよ

(しんた 川崎市立富士見台小学校)

川崎おんがく
かるた製作中
<2019年末販売>

早速ご好評いただいているのは、女性トイレのサイン看板。空き状況がひと目でわかるように、ドアに8分音符がデザインされたサイン看板が付きましました。心地よい夏のひとときをお過ごしいただくために、おもてなしの気持ちもパワーアップして、みなさまをお迎えいたします。

(新支配人 天羽)

スピーカーを新しくして、マイクを使う音響の間をえづらさを改善しましたので、フェスタ恒例のプレトークもより楽しんでいただけるはず。オルガンのクリアになった響きは、「真夏のパツパ」のみならず、レスピーギ、ローマの松(7月29日・都響)やエルガー「威風堂々」(8月3日・N響)でもお確かめください。

昨日の感動をお届けします!!
ほぼ 日刊サマーミュージック
Hobo Nikkan Summer Muza

ミュージックは約半年の休館を経て、今月1日リニューアルオープンし、おかげさまで開館15周年を迎えています。「休館してどこを改修したの?」というお尋ねをいただくので、一部をご紹介しますと...主には舞台設備の改修とパイプオルガンの整備作業を行いました。

スタツフ日誌